

第15回市民公開講座 開催報告



山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和8年2月11日（水・祝）に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、第15回市民公開講座『高齢者でも、肝転移があっても、治癒を目指す山口大学の大腸がん治療』が、山口市のKDDI 維新ホールメインホールで開催され、一般市民140名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡診療教授とFM きららの岡崎さんの総合司会のもと、本院腫瘍センターの永野教授の開会挨拶後、医師、看護師、管理栄養士、MSWのそれぞれの立場から、高齢者でも、肝転移があっても、治癒を目指す山口大学の大腸がん治療について5つの講演が行われました。

プログラム

- | | |
|--|---------|
| 1. 『高齢者でも治癒を目指す！大腸癌の手術治療』 | 田中 宏典先生 |
| 2. 『手術前に知っておきたい！化学療法と看護の役割』 | 神杉 政志先生 |
| 3. 『あきらめない！大腸癌肝転移の治療』 | 中島 正夫先生 |
| 4. 『腸閉塞予防、消化が良い食事とは』 | 藤井 愛子先生 |
| 5. 『がん患者さんを地域で支える
～利用できる制度やサービスとつながるために～』 | 山根 直子先生 |

各分野の先生方の講演に熱心に耳を傾ける様子が見受けられ、質疑応答ではたくさんの質問が出て、参加者の真剣さや意欲の高さを感じとることが出来ました。参加者からは、「高齢になって再発しても、諦めることなく治療出来る可能性がある」と聞き、少しほっとしました。」「最新の治療内容が理解出来た。」「質問コーナーが大変良かったです。」「平易で聞きやすい内容でした。」など、たくさんの感想をいただきました。

腫瘍センターでは、今後も市民公開講座を開催する予定ですので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

《ポスター》

《開会挨拶》



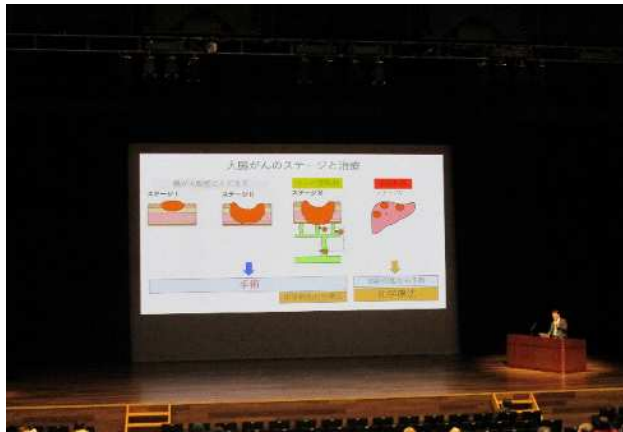
《講演中》



《講演中》



《講演中》



《講演中》



《質疑応答》



《質疑応答》

